

2 中丹地域における和牛繁殖巡回の成果と 今後について

京都府中丹家畜保健衛生所

西井義博 宮城信司

【はじめに】当所は地域の診療体制の変更により、平成6年から綾部市和牛繁殖農家を巡回指導し、繁殖障害対策と子牛増頭に取り組んできた。今回これまでの指導結果を取りまとめ、成果と課題について総括した。

【巡回指導】JAとともに毎月2回、早期妊娠診断、繁殖障害治療、飼料給与・子牛育成指導を実施。【検討方法】過去10年間延べ約900頭のカルテから、繁殖障害の原因や診療内容を年度及び農家毎に集計して、病態の変遷と個々の対策を分析。【成果】 卵巣静止は平成18年以前は約5割を占めていたが、飼料給与指導を行い、19年以降は減少。増体系の素牛導入が増えた農家では、エネルギー不足に起因する繁殖障害が増加したため、飼料設計を見直し、繁殖成績が改善。飼料改善とともに、パドック等の活用により発情発見率が高まり、全体として指導効果の指標となる初診牛頭数の割合は減少し、高い受胎率を維持。【課題】生産性を向上させる意識の差により農家間で指導効果に格差。【今後の対応】京都府では、アクションプランに基づき高品質な京都産和牛の増頭に取り組んでおり、繁殖成績の低い農家は、巡回を増やすなど重点的な指導を行い、さらなる成績向上を目指す。また巡回地域の拡大や、JA等と連携して発情見逃し牛への和牛卵移植にも取り組み、肉用子牛の増頭に結びつけたい。